



亡くなった祖父は岡山県出身のようで、わたしが幼少の頃、故郷の話をしていました。話では、津山中学校へ通ったようです。父親は中学受験から札幌で暮らしています。わたしは祖先を探して自分のルーツを確認したいと思っています。何か良い方法はないでしょうか。(北海道・男性)

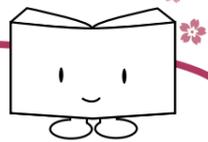
全国市区町村では、戸籍法により戸籍を管理しています。戸籍には、本籍のほか戸籍内の各人について氏名や出生年月日、実父母の氏名などが記載されています。戸籍を請求するためには、筆頭者の名前と本籍地が必要です。自分の戸籍から両親の戸籍を調べていくと直系の人を知ることができます。戸籍は本籍地のみで請求することができ、郵便での請求もできます。戸籍の請求には料金が掛かり、金額は市区町村によって異なりますので、事前に電話などで問い合わせることをお勧めします。

津山市では、おおむね明治中期頃までの戸籍が残っています。全国では、古い戸籍は戦争などの影響もあり、保存状況が異なります。ご注意ください。



問い合わせ先 市民課(市役所1階2番窓口) 052-321-2

つやまっ子に贈る100冊の本



つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっくちゃん」

ルールより大切な事もある



推薦者
高橋 千晶さん
(上田邑)

子どもが保育園に通っていた当時、ライオンが好きだった子どもと一緒に、園の貸し出し絵本の中から選んだ『としょかんライオン』。家で何度も読み聞かせてあげました。

図書館には大きな声を出したり、走ったりしてはいけないというルールがあります。ルールを守れば誰でも、たとえライオンでも利用できます。ある日ライオンは、怪我をした人がいることを知らせるために、ルールを破ってしまうと分かっている大きな声で吠えます。怪我をした人は助かりますが、次の日からライオンは図書館に来なくなります。図書

館は正しいことをしたライオンを見て「怪我をした人を助けるためなら、大きな声を出しても良い」という新しいルールを作ります。そして、ライオンは再び図書館に来ようになります。

ルールを守ることは大切です。でも、時にはそれよりも大切なことがあることも事実です。なかなか子どもに伝えるにくいことをこの本は教えてくれています。

優しいタッチの絵も温かみがありますし、とても読みやすい本です。ぜひ読んでみてください。

「としょかんライオン」
ミシェル・ヌードセン 作
ケビン・ホークス 絵
福本 友美子 訳
(岩崎書店)



きらめく津山人

子どもにも安全安心な地域を

岡山県警察嘱託犬協会 会長

日下 猛之さん(志戸部)



一般の人が飼育や管理、訓練をして厳しい審査を通過すると県警察から指定される嘱託警察犬。その岡山県警察嘱託犬協会の会長を務める日下さんにお話を伺いました。

入会のきっかけは？

愛犬仲間からの勧めで審査を受けたのがきっかけです。最初の挑戦で失敗し、とても悔しい思いをしました。それから、訓練を重ね、4度目の挑戦で初めて通過することができました。今から25年前のことです。審査は毎年受けなければなりません。最初の通過から今の犬は4代目

です。25年間毎年、通過することができています。どんな活動をしていますか？
事件などが起きた時に警察からの要請で愛犬と一緒に出動します。年間で20〜25回くらい、多い年には40回も出動したこともあります。要請内容は、行方不明者の捜索や犯人の追跡などです。この10年ほどは高齢者の行方不明が増えました。意識を失いかけていた高齢者を発見できたこともあり、とても重要な任務で、そこにやりがいを感じています。

ほかには5年前から「わんわんパトロール隊」が発足し、その活動にも取り組んでいます。わんわんパトロール隊とは？
嘱託警察犬に関わらず、一般の人でも犬の散歩を通じて地域の安全パトロールができる活動です。不審者や不審な車がいなかを注意して見たり、子どもたちの見守りや声掛けなどをし

たりしています。隊員は市内に88人います。

わんわんパトロール隊の活動の主な目的は、事件や犯罪の予防をすることです。特に子どもに関する犯罪や非行の予防には重点を置いています。

わんわんパトロール隊は、愛犬なら誰でもできる活動です。気軽に長く続けてもらうことが大事なので、細かな決まりはありません。協会の会員が地域のリーダーとなって、隊員をまとめています。

気がつけていることは？
警察嘱託犬の活動は警察官と一緒に行動しますが、散歩(パトロール)の時は、わたしと犬だけです。不審な状況に遭遇しても冷静に判断することを心掛けています。絶対に無理はしません。

元気の余っている子どもがいたずらをしてる場に遭うこともあります。そんな時に、声を掛けるべきか、どんな声をどのようにつけると良いかなど経験を頼りに判断をしています。声を掛ける時、犬と一緒に心強いですね。

犬がパートナーなので、愛情を持って飼育していると犬と心



▲愛犬ダリウスと散歩パトロールをする日下さん

元気の余っている子どもがいたずらをしてる場に遭うこともあります。そんな時に、声を掛けるべきか、どんな声をどのようにつけると良いかなど経験を頼りに判断をしています。声を掛ける時、犬と一緒に心強いですね。

犬がパートナーなので、愛情を持って飼育していると犬と心

これからの活動について
1人でも多くの愛犬家にわんわんパトロール隊の活動に参加してほしいですね。今のところ散歩中に子どもたちへの不審な行動などを見つけたことはありません。不審者などがいない地域づくりを目指しています。活動が広まって、津山が安全で安心して暮らせるまちになってほしいです。

会話の中に安全・安心な地域づくりへの熱意とパートナー(愛犬)への愛情が伝わってくる日下さん。犬の散歩ついでに安全パトロール、皆さんも気軽に取り組んでみませんか。